生産性向上支援訓練カリキュラム

A. バックオフィス	ChatGPTでビジネスに効果的な使い方を学ぼう！
新技術活用	**生成AIの活用**

コースのねらい	生成AIの概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等について理解し、AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。
対　象	（中堅・管理者層向け） ・ChatGPTの活用事例を知りたい方 ・生成AIのリスクやメリット・デメリットを知りたい方

講義内容		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間（H）
	1	生成AIの概要	（1）生成AIの基礎とChatGPTの特徴 AIの基礎概念や各種生成AIを紹介し、その中で現在最も広く使用されているChatGPTの強みを解説します。ChatGPTの汎用性の高さ（テキスト、画像生成、音声入力、データ分析など1つで多機能）と、対話形式で精度を高められる点を学びます。	1.0
			（2）ChatGPTをビジネス活用するための基本操作 ChatGPTで何ができるのか。初心者でも簡単に文書や資料、画像が生成できることを実際の操作演習で学びます。7Rを踏まえたプロンプト設計を用い、チャット型生成AIの基本を知ることで、自分で操作するのではなく、ChatGPTに「任せる」感覚を体感し、自社への導入イメージを具体化します。	2.0
			（3）**ChatGPTの多様な機能を体験する【演習】** ChatGPTのテキスト生成、画像生成、音声入力などを実際に試します。1つのツールで何ができるかをPCを用いて体験し、「任せる」感覚を理解します。	
	2	生成AIの活用事例と今後の展望	（1）ChatGPTによる業務の変化と導入場面の検討 業務において、ChatGPTを活用できる場面について考えます。文書作成、アイデア出し、データ分析補助、会議議事録作成など、活用事例を数多く紹介し、さらに複雑な操作のデモを見ることで、ChatGPT導入の具体的なヒントを提供します。その上で、自社の業務のどの部分にChatGPTを組み込めるかを検討します。	1.0
			（2）生成AI導入の課題とリスク管理 生成AIには「入力・出力・運用」の3つの段階でリスクが存在します。倫理・安全性・透明性・責任といった守るべき原則や、個人情報保護を踏まえたセキュリティ対策、そしてガイドライン策定の重要性について解説します。	0.5
			（3）生成AIの今後の展望と導入に向けた実践 生成AIの今後の企業活用について考えます。演習では、実用性とリスクの両面から、実際に企業にChatGPTを導入するための現場レベルでの課題と、その解決策について議論を行います。ChatGPTに業務を「任せる」体制づくりを含めた、自社の実態を踏まえた解決法を検討します。	1.5
			（4）**自社でのChatGPT導入計画を考える【演習】** 本研修で学んだ内容を踏まえ、自社の業務のどの部分にChatGPTを導入するか、期待効果、リスク対策、推進方法などをグループで話し合い、発表します。	
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント

本研修では、ChatGPTを中心に生成AI初心者～中級者を対象とし、「使う」より「任せる」感覚を養います。
AI概要は最小限に留め、ChatGPTの多機能性（テキスト・画像・音声・データ分析）と具体的なビジネス活用事例を重視します。
多数のデモと操作演習でAIの可能性を体感し、さらに安全性を踏まえた知識を得ることで、セキュリティ対策や社内展開の方向性を明確にします。

備考

ChatGPT有料版（1台/グループ）を使用しますが、無料版を自身のスマホ等で操作することも可能です。（ネット環境完備）